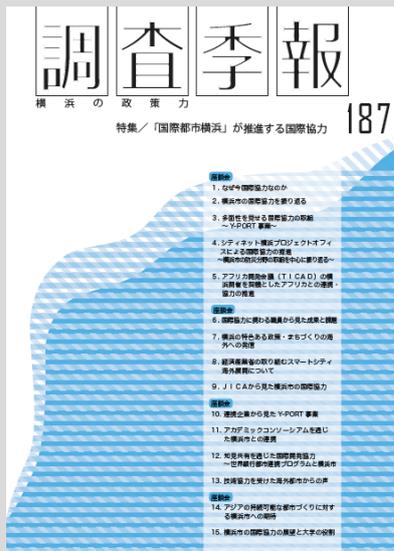


調査季報

187号

特集：「国際都市横浜」が推進する国際協力

を発行します。



1. 座談会／なぜ今国際協力なのか
2. 横浜市の国際協力を振り返る
3. 多面性を見せる国際協力の取組
～Y-PORT 事業～
4. シティネット横浜プロジェクトオフィスによる国際協力の推進
～横浜市の防災分野の取組を中心に振り返る～
5. アフリカ開発会議（TICAD）の横浜開催を契機としたアフリカとの連携・協力の推進
6. 座談会／国際協力に携わる職員から見た成果と課題
7. 横浜の特色ある政策・まちづくりの海外への発信
8. 経済産業省の取り組みスマートシティ海外展開について
9. JICAから見た横浜市の国際協力
10. 座談会／連携企業から見た Y-PORT 事業
11. アカデミックコンソーシアムを通じた横浜市との連携
12. 知見共有を通じた国際開発協力
～世界銀行都市連携プログラムと横浜市
13. 技術協力を受けた海外都市からの声
14. 座談会／アジアの持続可能な都市づくりに対する横浜市への期待
15. 横浜市の国際協力の展望と大学の役割

本市は1960年代から半世紀以上にわたって、多くの分野・地域において国際協力を行ってきました。これまで培ってきた経験や専門性を活かした新興国諸都市の課題解決への貢献はもちろん、市内企業の海外展開支援、都市課題についての知見の共有など、本市が行う国際協力の幅は広がっています。

調査季報187号では、改めて本市の国際協力を振り返り、その意義や社会環境の変化等を踏まえた今後の展開について考えていきます。

はじめに、本市における国際協力の変遷をたどるとともに、現在の取組について紹介します。また、国際協力に携わる職員の座談会等により、これまでの成果と課題について振り返ります。

さらに、関係機関や海外都市からの寄稿、連携企業の座談会により、外部機関から見た本市の取組についてお伝えします。

そして最後に、海外の有識者によるウェブ座談会や学識経験者による寄稿を通じて、「国際都市横浜」が推進する国際協力とはどうあるべきか、今後の展望を考えていきます。

- 調査季報は、市民生活にとって重要な課題や自治体の政策について、市職員や専門家・市民が意見を発表、討論するための政策研究誌です。昭和38年から50年以上にわたり発行されています。

1冊 500円（税込）

◎ 3月29日（月）から、市庁舎3階 市政刊行物・グッズ販売コーナーにて販売します。

また、各記事は市ホームページにも掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/tyousakihou/>

バックナンバーは、市ホームページで全号をご覧いただけるほか、発行から10年以内の号は市政刊行物・グッズ販売コーナーでご購入いただけます。

お問合せ先

政策局政策課データ活用推進等担当課長 小柳 八之 Tel 045-671-4087